

## 桐生が岡動物園・遊園地の園内施設拡充並びに 周遊観光施策の推進について（改訂継続）

桐生が岡動物園は昭和28年の開園以来、子供たちはもとより大人にも愛され親しまれ、動物に接することによる命の大切さが自然に身に付くなど、情操教育の場にもなっていました。

また、隣接する桐生が岡遊園地は、数々の大型遊器具・小型乗物を有し、その利用料金は最高でも200円と、大変リーズナブルな料金体系となっており、いずれの施設も桐生市内はもとより、広く関東エリアからも多くの方が来園される、桐生市を代表する観光スポットの一つとなっています。

市外からの更なる誘客を図るために、下記事項について要望いたします。

1. 開園以来数十年の年月が経過し、園内の遊器具や獣舎等の施設が老朽化していることから、ミニ蒸気機関車などの新たな遊器具の設置・獣舎の改築・新たな動物の購入等、園内施設の拡充を図るとともに、維持管理費プールの手段としての入場料有料化の検討。
2. 市外からの来園者が、桐生新町重要伝統的建造物群等の市内観光スポットを周遊したくなるような魅力ある観光施策の推進。

### 桐生市からの回答

#### 1 について

動物園の獣舎、遊園地の遊器具につきましては、施設の老朽化により全体として更新など検討すべき時期に入っているものと認識しております。

動物園では「ふるさと桐生応援寄附金」（ふるさと納税）を活用して、展示施設の改修を行っております。

また、新規動物については、令和3年度の市制施行100周年記念事業として、レッサーパンダの導入と展示を計画しているところであります。

遊園地につきましては、設置後20年以上経過したものが多く早期に更新することが課題となっておりますが、現在のところ定期検査及び保守点検、探傷検査を実施し、遊具の長寿命化を図っております。

また、新たにミニ蒸気機関車などを設置することについては、現在、小型乗り物コーナーにおいて同様の乗り物が活躍していることから、長く愛用されるよう整備に努めてまいりたいと考えております。

有料化につきましては、市民アンケートの結果を踏まえ、慎重に検討してまいりたいと考えております。

なお、市有資産を活用して新たな財源を確保するため、遊園地・動物園のネーミングライツを募集し、応募者の審査を図っているところであります。

[回答担当] 都市整備部公園緑地課公園管理係

## 2 について

桐生が岡動物園・遊園地は、市内はもとより市外・県外からも多くの来園客のある本市を代表する観光スポットであり、同園にいられた市外・県外の観光客をまちなかにも誘導し、本市の魅力を満喫していただく観光施策は極めて重要であると考えております。

市では、桐生のまち並みをゆったりと楽しんでいただけるよう、低速電動コミュニティバス「MAYU」による、遊園地・動物園や重伝建地区などを巡る市内周遊観光を実施しているところですが、今年3月からは群馬銀行桐生支店敷地内に開館した「桐生市観光情報センター」を発着点とし、市外からの来園者がよりまちなかへ向かいやすくなるようなコースといたしました。また、飲食店や土産物、市内周遊のモデルコースを雑誌等へ掲載したり、案内パンフレットを配布するなど、観光客の滞在時間を増やすための施策を実施しています。

今後も来園者が市内観光しやすい環境を整えるとともに、歴史あるまち並みや各種体験へ誘導して桐生の魅力を感じてもらえるよう、情報発信や既存の観光資源のブラッシュアップに取り組んでまいりたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部観光交流課観光振興担当